

指導例 ボクたちの出来事 第1話 エレベーターの前で（小学校5年～中学校3年）

本時のねらい

車椅子生活を送る人が困った事例を通して、多様な条件の人が排除されない社会を実現すること（社会的包摂＝ソーシャル・インクルージョン）のために何ができるかを、単なる思いやりの問題だけにとどめず、広い視野から考えられるようになる。

学習指導要領（特別の教科 道徳）の関連事項

小学校

公正、公平、社会正義（誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。）

相互理解、寛容（自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。）

中学校

公正、公平、社会正義（正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。）

社会参画、公共の精神（社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。）

相互理解、寛容（自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。）

本時の展開例

主な学習活動と発問（○＝発問）	指導上の留意点
1. エレベーターの前での出来事について考える	
・ 動画1（車椅子利用者のキバさんがエレベーターの前で1時間待たされた話）を視聴する。	
○ どうしたら、木場さんのような人がエレベーターを長く待たされるようなことがなくなるのでしょうか。	
・ 乗っている人が譲ればよい、見ている人が言えばよい、デパートがエレベーターに「優先」表示をすればよい、木場さんが積極的に声をかければよい、等。	・ 個人の考えをタブレットに記入する。 ・ ファシリテーションツールで分類ごとの人数と割合、他のクラスで出された主な意見をグラフで表示する。
・ 分類ごとの人数と割合を見て、グループで話し合う。	・ グループで話し合った結果として新たに考えたこと、気づいたこと等をタブレットに記入する。 ・ 新たに考えたことの分類ごとの人数と割合をグラフで表示する。
2. 当事者の話を聞いて考える	
・ 動画2（木場さんのモデルとなった千葉さんの話）を視聴する。	
○ 私たちはこれからどのような社会をつくっていく必要があるのでしょうか。そして、そのために、私たちにはこれから何ができるのでしょうか。	
・ 障害をもつ人などと日頃から関わる、外国のことを知る、声をあげていく、等。	・ 個人の考えをタブレットに記入する。 ・ ファシリテーションツールで分類ごとの人数と割合、キーワード、マトリックス（個人⇄社会、心がけ⇄しくみの2軸）を示す。
3. まとめ	
・ エンディング映像を視聴する。 ・ 授業の感想を発表する。	